

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公表番号】特表2008-542847(P2008-542847A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-515176(P2008-515176)

【国際特許分類】

G 03 G 15/00 (2006.01)

G 03 G 9/08 (2006.01)

B 41 J 3/54 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/00 106

G 03 G 9/08

G 03 G 9/08 371

B 41 J 3/54

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの画像形成ユニットを備える印刷プロセスであって、それぞれが、粉末像が上に形成され得る画像媒体と、粉末像を転写するために画像媒体と接触可能な中間媒体とを含み、中間媒体は、粉末像を形成するためのトナーと組み合わせて、受容媒体の2つの別々の面に粉末像をほぼ同時に印刷するためのニップルを共に形成する印刷プロセスであって、トナーがAPI流動性試験機を使用して測定される6以上の流動性を有することを特徴とする、印刷プロセス。

【請求項2】

トナーの流動性が30より高くないことを特徴とする、請求項1に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項3】

トナーが、70から85の温度、および400ラジアン/秒の変形周波数で、1E-07/Paの損失コンプライアンス(J")を有することを特徴とする、請求項1または2に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項4】

トナーが、75から80の温度、および400ラジアン/秒の変形周波数で、1E-07/Paの損失コンプライアンス(J")を有することを特徴とする、請求項1から3のいずれか一項に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項5】

トナーがカーボンブラックでコーティングされていることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項に記載のトナーと組み合わせた印刷プロセス。

【請求項6】

請求項1から5のいずれか一項に記載の組み合わせを備える、プリンタ。

【請求項7】

2つの画像形成ユニットを備え、それぞれが、粉末像が上に形成され得る画像媒体と、粉末像を転写するために画像媒体と接触可能な中間媒体とを含み、中間媒体は、粉末像を形成するためのトナーと組み合わせて、受容媒体の2つの別々の面に粉末像をほぼ同時に印刷するためのニップルを共に形成する印刷プロセスを使用するプリンタで適用するためのトナーを選択するための方法であって、トナーがA P I流動性試験機を使用して測定される6以上の流動性を有するように選択されることを特徴とする、方法。

【請求項8】

トナーがカーボンブラックでコーティングされている場合にトナーが選択されることを特徴とする、請求項7に記載のトナーを選択するための方法。